

京都の野における 風景の発達と持続に関する研究

京都大学学位論文 (2009)

山口敬太

目次

序論

1. 研究の背景と目的

- 1) 研究の目的
- 2) 研究の背景
 - a) 学術研究における課題
 - b) 近年の景観制度における課題

2. 概念および用語の整理

- 1) 「風景」および「風景の見方」について
 - a) 風景
 - b) 風景の見方
 - b) 景色と風景
- 2) 「風景の発達」について
 - a) 風景の発見
 - b) 風景の定型化
 - c) 風景の発達
- 3) 「野の風景」について
 - a) 野について
 - b) 京都の野における風景の発達
 - c) 野の空間的特性
- 4) 「風景の持続」について

3. 研究の構成と位置づけ

- 1) 研究の構成と方法
- 2) 研究の位置づけ

第 I 編

文芸に現れる風景の発達と持続

：嵯峨野を対象として

第一章

近世以前の文芸に現れる景色

1.1 はじめに

1.2 嵯峨野の景色に関わる史実の概要

- 1) 平安以前の秦氏による開発
- 2) 遊楽の地、別業の地としての嵯峨野
- 3) 霊域としての嵯峨野と化野
- 4) 嵯峨野における禅宗寺院の建設
- 5) 名所としての嵯峨野

1.3 文芸に現れる嵯峨野の景色

- 1) 分析方法
- 2) 文華秀麗集に現れる嵯峨野
- 3) 兼明親王の漢詩に現れる嵯峨野
- 4) 古今和歌集に現れる嵯峨野
- 5) 源氏物語に現れる嵯峨野
- 6) 歌枕に現れる嵯峨野
 - a) 嵯峨野の歌枕
 - b) 和歌初学抄にみる歌枕のイメージ
- 7) 新古今和歌集に現れる嵯峨野
 - a) 西行の歌に現れる嵯峨野
 - b) 藤原定家の歌に現れる嵯峨野
- 8) 平家物語に現れる嵯峨野
 - a) 平家物語・祇王に現れる嵯峨の山里
 - b) 平家物語・小督に現れる嵯峨の山里
- 9) 謡曲に現れる嵯峨野、嵐山
 - a) 謡曲「西行桜」
 - b) 謡曲「嵐山」
 - c) 謡曲「野宮」
 - d) 謡曲「定家」
- 10) 嵯峨日記に現れる嵯峨野

1.4 小結

第二章

近世の紀行文にみる風景の重層性

2.1 はじめに

- 1) 研究の視点
- 2) 近世の嵯峨野
- 3) 研究の手順
- 4) 絵図資料を用いた近世の景観の把握

2.2 嵐山周辺の風景

- 1) 嵐山周辺の名所の特徴
- 2) 歌枕・四季の名所の風景
- 3) 物語・故事の風景
- 4) 眺望
- 5) 遊びの名所
- 6) 神社仏閣
- 7) まとめ

2.3 小倉山山裾部の風景

- 1) 小倉山山裾部の名所の特徴
- 2) 歌枕・四季の名所の風景
- 3) 物語・故事の風景
- 4) 眺望
- 5) 神社仏閣
- 6) まとめ

2.4 北嵯峨の風景

- 1) 北嵯峨の名所の特徴
- 2) 歌枕・四季の名所の風景
- 3) 眺望
- 4) まとめ

2.5 考察

- 1) 嵯峨野における風景記述の特徴
- 2) イメージの追体験と場所の歴史との関わり

2.6 小結

第三章

名所再興にみる風景資産の継承と創造

3.1 はじめに

- 1) 研究の視点
- 2) 嵯峨野の名所の変遷

3.2 祇王寺の再興

- 1) 名所の成立
- 2) 再興の過程と趣意
- 3) 再興後の景観

3.3 落柿舎の再興

- 1) 名所の成立
- 2) 再興の過程と趣意
 - a) 井上重厚による再興
 - b) 途絶と再興の繰り返し
- 3) 再興後の景観

3.4 時雨亭・厭離庵の再興

- 1) 名所の成立
- 2) 再興の過程と趣意
 - a) 冷泉家による再興
 - b) 大村彦太郎らによる再興
- 3) 再興後の景観

3.5 その他の名所の維持と再興

- 1) 野宮神社の維持
- 2) 天龍寺の荒廃と復興
- 3) 故事の再興：船遊祭（三船祭）の再興

3.6 小結

第四章

近代以降の風景の持続と変容

4.1 はじめに

4.2 風景の見方の継承と新たな野の風景の発見

- 1) 観光案内記からみる風景の見方の継承
 - a) 『京都名勝誌』（1928）の記述に見る鑑賞対象
 - b) 案内記における記述内容の継承
- 2) 新たに発見された嵯峨野の風景
 - a) 武蔵野と嵯峨野の比較
 - b) 道すがらの風景
 - c) 発見された嵯峨野の新たな景物

4.3 近代以降の開発と景観変容

- 1) 上地後の開発
 - a) 別荘の建設
 - b) 亀山公園の開設と整備
- 2) 近代観光の発展
- 3) 宅地化の進行

4.4 風致保全施策の展開

- 1) 明治から大正にかけての山林・古社寺の保護
- 2) 昭和初期における風致保全行政
 - a) 京都近郊の山辺の公園としての位置づけ
 - b) 風致地区の指定
 - c) 小倉山公園計画
- 3) 風致経営と保全の動き

- a) 行政による風致経営の思想
 - b) 嵯峨における観光地経営・住宅地経営
 - c) 嵯峨の変貌に対する風景保全の訴え
 - d) 保勝会による風景保全運動
- 4) 古都保存法による名所周囲の物的環境の保存
 - 5) 文化財としての町並みと民俗文化財の保存

4.5 小結

第Ⅱ編

野における山水の空間構造と風景

1. はじめに

2. 地形的圍繞と空間

- 1) 囲い込みによる場所の発生
- 2) 都市・建築における地形的圍繞
 - a) 古代の都（宮処）・国における地形的圍繞
 - b) 風水と地形的圍繞
 - c) 聖地・宗教的空間における地形的圍繞
 - d) 都市・集落における地形的圍繞
 - e) 山荘・庭園における圍繞
 - f) まとめ

3) 視点場空間と地形的圍繞との関わり

第五章

平安時代の別業における

地形的圍繞の空間的特性

5.1 はじめに

- 1) 研究の視点
- 2) 研究の位置づけ
- 3) 研究の方法

5.2 史料にみる別業周囲の地勢に対する認識

- 1) 別業の概要
- 2) 文献資料にみる別業周囲の地勢に関する記述
 - a) 嵯峨院
 - b) 良房山荘（白河院）
 - c) 源融別業
 - d) 清原夏野山荘
 - e) 南洲年名別業
- 3) まとめ

5.3 別業における地形的圍繞の空間的特性

- 1) 仰角を用いた圍繞性の評価
- 2) 領域空間の規模の評価
- 3) 眺望性（見通し）の評価
- 4) 周辺地形を考慮した地形的圍繞の分類
 - A) 広域圍繞
 - B-1) 凸型・複合圍繞
 - B-2) 凹型・複合圍繞
 - C) 狭域圍繞
- 5) 考察
 - a) 別業の用途と空間の関係
 - b) 平安京周辺部における地形的圍繞空間の連なり

5.4 小結

第六章

近世初期の文人山荘における隠遁の風景

6.1 はじめに

- 1) 研究の視点
- 2) 近世の文人山荘

6.2 本阿彌光悦の太虚庵（光悦寺）の風景

- 1) 光悦寺（太虚庵）の立地と地形の空間的特性
 - a) 太虚庵の立地
 - b) 地形の空間的特性
- 2) 太虚庵の風景
 - a) 光悦の太虚庵での隠遁生活
 - b) 山々と野の眺め
 - c) 雲海の眺め
 - d) 「鷹峰記」に現れる風景
- 3) 近代初期の光悦寺の再興
 - a) 光悦寺の衰微
 - b) 光悦会の発足と茶室の建設
- 4) 光悦寺における視点場空間と眺望の構成

6.3 石川丈山の詩仙堂の風景

- 1) 詩仙堂の立地と地形の空間的特性
- 2) 詩仙堂の風景
 - a) 造営時の詩仙堂の敷地構成
 - b) 詩仙堂とその周囲の風景
- 3) 詩仙堂(現在)における視点場空間と眺望の構成
 - a) 峰要からの眺め
 - b) 嘯月楼からの眺め

6.4 木下長嘯子の東山・西山の山荘の風景

- 1) 東山での隠遁生活と風景
 - a) 東山での隠遁生活
 - b) 山荘の景物
 - c) 隠遁生活のモデル
- 2) 西山での隠遁生活と風景
- 3) 地形の空間的特性

6.5 藤原惺窩の市原山荘の風景

- 1) 惺窩山荘の風景
- 2) 地形の空間的特性

6.6 角倉素庵の大悲閣の風景

- 1) 大悲閣の風景
 - a) 角倉了以・素庵による大悲閣の造営
 - b) 大悲閣からの眺め
- 2) 地形の空間的特性

6.7 小結

第七章

古庭園における

地形的圍繞の構成と眺望景観の特性

7.1 はじめに

- 1) 研究の視点
- 2) 研究の対象
- 3) 研究の位置づけ

7.2 研究の方法

7.3 庭園内視点場からの地形の見え方と見せ方

- 1) 視距離と水平見込角からみた敷地外地形の見え方
- 2) 圍繞空間の構成
- 3) 視界の設定による眺望操作

7.4 事例の考察

- 1) 成就院
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 2) 慈照寺
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 3) 南禅院
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 4) 酬恩庵
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 5) 石水院
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 6) 修学院離宮・上御茶屋
 - a) 圍繞空間の構成
 - b) 眺望景観の特性
- 7) まとめと考察
 - a) 圍繞空間の構成に関する考察
 - b) 眺望景観の特性に関する考察

7.5 小結

第八章

結論